

危険が潜む冬の中…

矢吹 信子

山口県では1～2月は冷え込みが厳しく乾燥しやすい気候となります。そのため、屋内でも思わぬところに危険が潜んでいます。

入浴時 衣服を脱ぎ着する際、温度差で血圧が急激に変化し心臓や血管の疾患を引き起こす「ヒートショック」が起きやすくなります。寒い脱衣所にはヒーター等を設置して他の部屋との温度差をなくす工夫をしてみましょう。

コンセント 冬は乾燥によりホコリが舞いやすく、コンセントのプラグ周りにたまると発火し、火災の原因となります。複数のコードがある場所は整理してこまめに掃除しましょう。



キッチン 食事の準備でグリル周りで作業する際、誤って長袖口の端から衣服に火が移りかねません。調理時は腕まくりをしたり防災用アームカバーやエプロンの着用したりすることをおすすめします。

もしもの時のためにすぐ使える場所に家庭用消火器を備えておくなどして、冬の室内での事故を防ぎましょう。

有効期限を
分かりやすく表示して
定期的にcheck!



矢吹信子さん

山口市在住。長年の主婦歴を活かせることを考え、整理収納アドバイザー1級、2級認定講師、福祉住環境コーディネーター2級を取得。現在、県内各地で各種セミナーなど開催。一人ひとりの生活スタイルと心に寄り添った整理収納の提案を心がけながら活動中。

